

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 22 日(2023.9.22)

【公開番号】特開 2023-110780(P2023-110780A)
【公開日】令和 5 年 8 月 9 日(2023.8.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-149
【出願番号】特願 2022-12430(P2022-12430)
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/60(2023.01)

10

G 0 6 T 7/215(2017.01)

G 0 6 T 7/246(2017.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232290

G 0 6 T 7/215

G 0 6 T 7/246

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 13 日(2023.9.13)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

処理対象の動画像を取得する取得手段と、

前記動画像に含まれる画像から物体を検出する検出手段と、

前記動画像に含まれる画像に対する前記検出手段の検出結果に基づき、当該画像における注目領域の位置を決定する決定手段と、

30

前記動画像について前記決定手段により決定された注目領域の位置の移動に対応する軌跡と、切出領域のための基準位置とに基づき、切出領域の位置の移動に対応する軌跡である切出軌跡を導出する導出手段と、

前記動画像に含まれる複数の画像において、前記切出軌跡に基づき特定される切出領域から、切出画像を生成する生成手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記動画像について前記決定手段により決定された前記注目領域の位置の移動に対応する軌跡と、前記基準位置とに基づき、前記切出軌跡の導出に用いる特徴点を特定する特定手段を更に有し、

40

前記導出手段は、前記特定手段により特定された特徴点に基づき、前記切出軌跡を導出することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記特定手段は、前記注目領域の移動に対応する軌跡と、前記基準位置との交点に基づき、前記特徴点を特定することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記特定手段は、前記注目領域の移動に対応する軌跡と、前記基準位置との交点に基づき特定した特徴点を用いて、追加の特徴点を特定し、

前記導出手段は、前記特徴点および前記追加の特徴点に基づき、前記切出軌跡を導出することを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

50

【請求項 5】

前記導出手段は、3 次エルミート補完法を用いて、前記切出軌跡を導出することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記基準位置は、ユーザーの操作に基づき設定されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記基準位置は、前記検出手段により画像から検出された特定の物体の位置に基づき設定されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記取得手段により取得される前記動画像は、予め録画された動画像であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

処理対象の動画像を取得する取得工程と、

前記動画像に含まれる画像から物体を検出する検出工程と、

前記動画像に含まれる画像に対する前記検出工程の検出結果に基づき、当該画像における注目領域の位置を決定する決定工程と、

前記動画像について前記決定工程において決定された注目領域の位置の移動に対応する軌跡と、切出領域のための基準位置とに基づき、切出領域の位置の移動に対応する軌跡である切出軌跡を導出する導出工程と、

前記動画像に含まれる複数の画像において、前記切出軌跡に基づき特定される切出領域から、切出画像を生成する生成工程と、

を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 10】

コンピュータを、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置として機能させるためのコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の画像処理装置は以下の構成を備える。すなわち、処理対象の動画像を取得する取得手段と、前記動画像に含まれる画像から物体を検出する検出手段と、前記動画像に含まれる画像に対する前記検出手段の検出結果に基づき、当該画像における注目領域の位置を決定する決定手段と、前記動画像について前記決定手段により決定された注目領域の位置の移動に対応する軌跡と、切出領域のための基準位置とに基づき、切出領域の位置の移動に対応する軌跡である切出軌跡を導出する導出手段と、前記動画像に含まれる複数の画像において、前記切出軌跡に基づき特定される切出領域から、切出画像を生成する生成手段と、を有する

10

20

30

40